



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

5月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



5.16 中野 雅唯くん 中町 雅唯です。春に吹く風、凱風からとりました。かっこいいでしょ。



5.15 米森 芹莉ちゃん 内子20 にここで愛嬌たっぷり♡ 早く歩けるようになりたいな!



5.11 松本 かすみちゃん 東沖 まだまだ人見知りすることもありますが、みんなと遊びたいです♡



5.28 松田 颯斗くん 内子7 ねえね、にいと遊ぶの大好き♡ 早く一緒に歩きたいな!



5.28 金谷 光凌くん 内子17 食べるの大好き♡ 早く歩けるようになりたい、お外で遊びたいな!



5.22 菊地 詞葉ちゃん 岡第2 お散歩やお歌が大好きです。もう少しで歩けるようになります。



5.31 永見 真悠くん 上村 食べるの遊ぶの大好きです♡ 歩く練習、頑張ります!



5.28 峯下 珠帆ちゃん 和田 お姉ちゃん大好き! いっぱい食べて大きくなりたいな。

「はじめてのバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月上旬にお送りしています。ぜひ、応募してください。

FROM ME TO YOU

みんなでつないでリレーエッセイ



「忘却の1999」

上野 周作さん(37) 掛橋

1999年、世間ではノストラムでした。その波は片田舎の

小さな町にも押し寄せ、当時中学3年生だった私たちの世代は直撃を受けました。子どもたちはメディアから流れてくるバンドサウンドに魅了され、松山のライブハウスに通い、自分たちで楽器を手にしてバンドを組み始めました。そうするとやはり人前で演奏したくなるものです。公民館や文化交流センタースバルで、同級生や地域の人を客に迎えライブを開催しました。当時、小田で人気が高かったのはヴィジュアル系バンドです。ヴィジュアル系とは化粧やファッションで様式美や世界観を表現する音楽ジャンルです。中学校の昼の放送はバンド音楽がジャックし、小田にヴィジュアル系バンドが数組存在するという、少し異様な状態でした。しかし、ブームには必ず終

焉がやってきます。子どもたちは進学や就職を機会にバンドから卒業していきました。私はその機会を完全に見失い、令和の時代になっても当時流行したバンドの音源を収集し、彼らの現在の活動を追い続けていく魔法の解けないシンデレラのような存在なのです。そして、1999年に小田でバンドブームがあったことを風化させてはいけないという使命感に駆られ、ペンを走らせています。このエッセイを目にした同級生や関係者の人たちが当時のことを少しでも思い出して懐かしんでもらえれば、これ至極幸いです。私は5月の淡い日差しの中で、あの頃の色あせない日々となくした面影を探しています。

監修 内子町食生活改善推進協議会



池田 禮子さん =立石=

●材料(4人分)

豆苗1パック/鶏ささみ2本/塩こしょう少々/A鶏ささみのゆで汁大さじ1、マヨネーズ大さじ2、カレー粉小さじ1、塩少々

●作り方

- ①鶏ささみはゆでて、筋を取る。手で細かく割いて、塩こしょうをふる。
- ②豆苗は根元を切り落とし、3等分に切る。600Wの電子レンジで30秒~1分ほど加熱する。
- ③ボウルに①と②、Aを入れて、混ぜ合わせて完成。



季節の一皿 SPECIAL DISH

豆苗とささみのカレー風味サラダ

Q 広報クイズ

「広報うちこ」5月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①令和3年度内子町人権意識調査のテーマは「みんなでつくろう、●○○の無い住みよい町。」
- ②内子町の外国語指導助手(ALT)に就任した「ゴイツェオーネ・トップマン・○○○●」さん
- ③4月23日～5月12日はこどもの読書週間。テーマは「ひとみキラキラ本に○○○○」
- ④本田ひまりさんが内子町「○○●○」子ども応援事業優秀者賞を受賞
- ⑤内子町食生活改善推進協議会が郷土料理の「●○○」本を発行

応募方法：

ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください(1人1通まで)。正解者の中から抽選で10人に図書カード(500円)をプレゼントします。宛て先：〒795-0392 内子町役場 総務課 広報・広聴係 締め切り：5月31日(消印有効) 当選者発表：「広報うちこ」7月号

● 3月号当選者の皆さん

答え「ひなまつり」 正解数28

- ・武智 幸雄さん (内子10)
- ・竹本 芳子さん (内子18第2)
- ・徳田 彩音さん (内子18第2)
- ・和田 洋子さん (内子20)
- ・黒住 弘子さん (川中1)
- ・國本 満子さん (中町)
- ・橋本津多子さん (平野)
- ・佐々木久美恵さん (堂村)
- ・山岡 政幸さん (大洲市)
- ・村上 花琳さん (大洲市)

地球温暖化対策の一環として、内子町では毎年「緑のカーテンコンテスト」を行っています。家庭や職場、学校などからも応募ができ、入賞者には記念品を贈呈します。直射日光を防ぎ、室内の温



緑のカーテンで夏を涼しく過ごそう

ID 0127972
● 応募期間 7月1日(金)～9月30日(金)
《苗を無料配布します》
今年もNPO法人環境NPOサン・ラブの提供により、緑のカーテン用の苗(ゴーヤ・ユウガオ・フウセンカズラ)を

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893(44)6159



昨年度の最優秀賞、内山美江子さんの緑のカーテン

度上昇を防ぐ「緑のカーテン」に取り組みながら、コンテストに応募してみませんか。
● 応募方法 応募用紙に必要事項を記入し、提出してください。応募用紙は苗の配布場所にあります。町のホームページからもダウンロードできます。

無料で配布します。
● 配布期間 5月中旬～※なくなり次第終了します。
● 配布場所 役場本庁(環境政策室)、内子分庁、小田支所、各自治センター

VOICE

まちな声

成年が20歳から18歳に——。成人式はどうなりますか

□成年年齢が18歳に変わりました。成人式も18歳が対象になりますか。(40代女性)
■民法改正によって18歳から成年とみなされ、保護者の同意なく、さまざまな契約ができるようになりました。成人式は各市町の判断に任

されており、内子町では当面、20歳を対象に式典を行う予定です。今年の開催日については決まり次第、広報紙などでお知らせします。
【問い合わせ】
自治・学習課 生涯学習係
☎0893(44)2114

優しいおばあちゃんの真心のカタチ

蔵本 マスミさん(89)＝東沖＝

「喜んで使ってもらうのがうれしくて、調子に乗ってどんどん作りよります」と照れながら話すのは89歳の蔵本マスミさん。昔の着物を再利用してバッグや巾着袋などを10年以上作り続けています。

蔵本さんは先月まで、心の健康を支援する「精神保健ボランティアグループでんでんむし」の会員でした。熊本地震の際には、義援金を集めるために蔵本さんの作品を販売しました。「この歳になっても行動に移せたのはグループのみんなのおかげ。少しの額だったけれど、気持ちを伝えたかった」と話す蔵本さん。実は子どもの頃、水害で家が浸水した経験があるそうで、「不安な気持ちを支えてくれたのは人の温かさだったから」と優しくほほ笑みます。

着物柄を生かし、ミシンで丁寧に縫われた蔵本さんのバッグはデザインも使い勝手もいいと評判です。「元気でいられるのは大好きな裁縫を毎日楽しんでいるからかも。人とのつながりも広がった。あとどれくらいできるか分からないけれど、目と腕が言うことを聞く限り作りたい」と笑顔で話しました。



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

皆さんとの出会いが楽しみ

3月から内子町の外国語指導助手(ALT)に着任したゴイツェオーネ・トップマン・ロバーツです。トップマンと呼んでください。

私は南アフリカ共和国のマフィケングという小さな町で生まれ、7歳からは首都プレトリアに移り住みました。プレトリアはジャカラングという紫の花が有名で、春には街中が紫色に染まりとてもきれいです。家族は両親と2人の妹、3匹の犬です。子どもが大好きなので、いつか自分の家族のようにぎやかな家庭を築きたいです。

大学では国際関係学の学士号を取得しました。大学の教員補助員として働いた後、在南アフリカ共和国日本大使館の広報文化センターに勤務しました。大使館では

両国の文化を広める手伝いをしていて、「ジャパNDER」という催しでは日本の食や芸能を紹介したり、邦画の上映会をしたりしていました。次第に日本が好きになり、日本に行って文化を学びたいとALTになる道を選びました。

私は主に内子小、大瀬小、大瀬中で英語を教えます。子どもたちから日本語を学ぶことも楽しみにしています。この素晴らしい内子町で皆さんと出会い、たくさん交流できるように日本語の勉強も頑張りたいです。内子町民の一員になって、役に立ちたいと思っています。仲良くしてください。ハイキングや釣りなどのアウトドアも好きなので、ぜひ仲間に誘ってくださいね。



好きなスポーツはラグビーとF1、サッカーと話すトップマンさん

HELLO!!!

FROM AROUND THE WORLD

外国語指導助手
ゴイツェオーネ・トップマン・ロバーツ

Goitseone Topman Roberts